



上越市立牧小学校

第4号

学校だより

令和2年8月1日

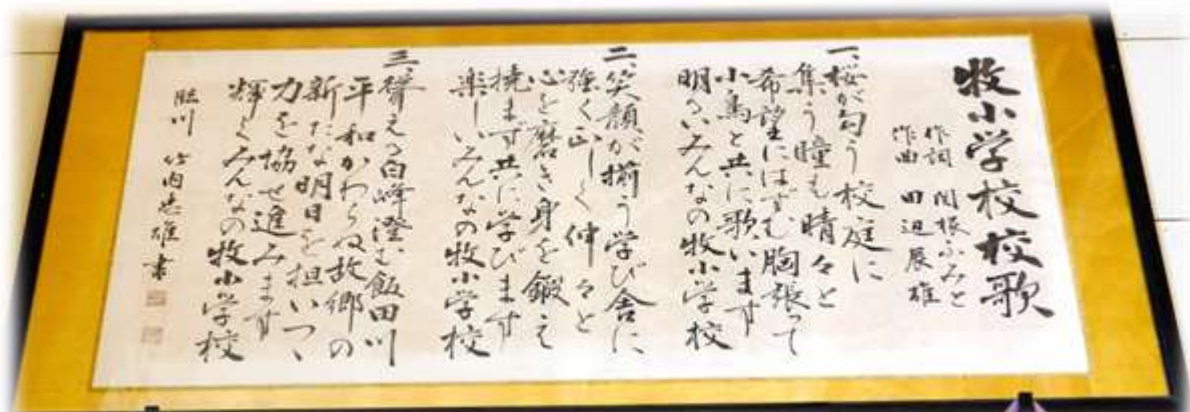
校歌とともに 1学期を振り返る

校長 百目鬼 弘通

先日の全校朝会では、入学式以来、体育館に校歌が響きました。入学式での校歌は、CD音源だったため、この日、集会活動では、初めて子どもたちが校歌を歌いました。歌詞に歌われている風景が映像のように浮かび上がり、子どもたちの歌声が心に染みしました。

さて、新型コロナウイルス感染予防対策のための臨時休業が明けた4月、「桜が匂う校庭に 集う瞳も晴々と 希望にはずむ胸張って」子どもたちが「明るいみんなの牧小学校」に戻ってきました。その後、再度の臨時休業を挟み、「笑顔が揃う学び舎に 強く正しく伸々と 心を磨き 身を鍛え たゆまず共に学びながら 楽しいみんなの牧小学校」で過ごした1学期69日間。保護者や地域の皆様方にご支援とご協力をいただき、おかげさまで充実した教育活動を推進することができました。併せて、日々の授業や諸活動をとおして、子どもたちは多くのことを経験し成長したことを喜んでいきます。

このコロナ禍の中、保護者の皆様からのご協力をいただきながら「学校における新しい生活様式」を踏まえて、教育活動を展開してきました。1学期の学校行事や諸活動の延期、縮小、中止によって、子どもたちには残念な思いをさせてしまったことが、悔やまれます。これも「子どもたちの生命と安全・安心を守るために」ということでご理解をいただければ幸いです。それにしても、子どもたちは、実にたくましい！休み時間は「3密」を回避しながら目一杯体を動かし、授業では、マスク着用をものともせず元気に活動しています。そんな子どもたちを誇りに思うとともに、その姿に感動を覚えたことが数多くありました。子どもたちに感動させられた1学期でした。2学期も「故郷の新たな明日を担いつつ 力を協わせ進みながら 輝くみんなの牧小学校」を創って参ります。保護者・地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



各学年の総合的な学習の時間、生活科の活動を紹介します

地域の方々からご協力いただき、目的意識をもちながら取り組みました。

1年生 「生活科」って、たのしいな ～あさがおの成長とともに～

1年生は、「がっこうたんけん」「ともだちとなかよし」「せんせいとなかよし」という楽しい活動をとおして、学校生活に少しずつ慣れることができました。

「わたしのあさがお」では、美しい花を咲かせてほしいという願いを込めながら種を選び、毎日お世話をしました。

あさがおのお世話をすることを通して、あさがおの成長や開花に、喜ぶ姿が見られました。また、成長したあさがおを観察し、葉っぱや花の感触、色などについて実際に触ったりしながら、たくさんの発見をすることができました。あさがおの成長とともに、1年生も立派に成長することができました。もうすぐ美しい花が咲きます。



2年生 「はばたき農園」で野菜づくり ～大きく、おいしく育て！～



2年生は、野菜作りに取り組んでいます。自分で植えたい野菜を二つ選びました。「きゅうり」「ミニトマト」「ピーマン」「なす」「オクラ」「えだまめ」などを選び、JA様や用務員さんから植え方を教えてもらいました。ポットから苗を出すときが少し大変でしたが全員が上手に植えることができました。



その後のお世話が大変です。雑草がたくさん生え、毎週草取りをするのが一苦労です。でも、少しずつ大きくなっていく苗を見ながら「早く大きくなってね」と声をかけている姿がありました。いよいよ収穫というときに、カラスに食べられてしまいました。カラス撃退の方法を考え、今収穫しています。

3・4年生 ブナのようにまっすぐ伸びる子どもたち ～森と水を学んで～

「森と水」をテーマに、水はどこからくるのか、森にはどんな役割があるのかということ、地域の方から話を聞いたり、校外に足を運んで調べたりしました。

森の役割や水の流れる道を調べるために、牧区のブナ林に探検に行ったときには、水を蓄えている地面を掘り、土の感触を確かめたり、湧き出ている水に触れ



たりしてきました。子どもたちは水の生まれている場所や、ブナ林の役割を知り、驚いていました。

牧には素晴らしい大自然があることにあらためて気が付き、この自然を大切にしていかなければならないということも学びました。



5年生 伝統農法「共生米づくり」にチャレンジ ～鯉と一緒に～



今年も、上越タイムスや朝日新聞、UX新潟テレビ21など多くの記者が取材に来ている中で鯉の放流体験をしました。初めて鯉に触れる子どもが多く、なかなかつかめずに苦戦していましたが、うまく捕まえることができた友達が「両手で捕まえるといいよ」とコツを教えてくれると、全員スムーズに捕まえることができました。田んぼに鯉が泳いでいる様子が何とも新鮮でした。「鯉を使う牧のお米づくりをいろんな人に知ってほしい」「鯉が草を食べてくれるので除草剤などが少なく済む」などなど、鯉を使っの稲作をする利点を学ぶことができました。7人とも、稲刈りの時に鯉を捕まえるのを今から楽しみにしています！

6年生 Let's draw a dream map ～自分の夢を描こう～

今まで、牧のために貢献している「よもぎの会」様、「地域おこし協力隊」様からお話をお聞きし、自分の将来についての思いを深めました。今月は、(株)太平堂の社長様から来校いただき、

『糶六華カレー』ができるまでのお話をお聞きました。社長様の「上手く行かず大変なことばかりだったけど、諦めなかったことが、カレーの完成につながった」という話から、何事も諦めず続けることの大切さを学びました。社長様から『糶六華カレー』をPRするアイデアがあれば教えてほしいという依頼もいただきました。これから6年生がどんなアイデアを考えるのか楽しみです。



教科指導はもちろん、総合的な学習の時間、生活科での学習や体験等をとおして、「ふるさと牧を愛し、夢と志をもち、未来をたくましく切り拓く子ども」を育み、「牧っていいね」と皆が声を合わせて言えるよう取り組んでいきます。

夏休みに家族で考え、取り組みましょう。 ～ゲーム・ネット利用～

スマホを使っている子どもたちは学力が低下し続ける——。これは脳科学で知られる東北大学教授・川島隆太さんの研究で明らかになったものです。SNSは、今や現代人にとって欠かせないツールであり、それは子どもたちも同じです。しかし、その世界に浸りきっていると脳は大変なダメージを受けるというのです。SNSは脳の働きにどのような影響を与えるのでしょうか？

〈川島〉

僕たちは7年間、仙台市の7万人の子どもたちの脳を追いかけて調べていますが、スマホやSNSの利用と学力との関係が明らかになってきました。そこで分かったのは、これらを使えば使うほど学力は下がります。それは睡眠時間や勉強時間とは関係ありません。例えば、家で全く勉強していない子どもたちのグループがあります。スマホをいじらない子はある程度の点が取れるのですが、その先、使い始めると睡眠時間は一緒でも、そこから点が下がっていくんです。要はスマホを使ったことによって、脳の中の学習した記憶が消えたということです。仙台市の子どもたちのデータですから、一般則ではないかもしれませんが、例えばSNSを1時間やると、100点満点の5教科のテストで30点、一教科当たり5点分くらい点数が下がります。1時間で5点ですから4時間使えば20点下がるわけです。

そこから分かるのは、本来なら総合点が高いはずの子どもたちが、SNSをやっているばかりに勉強した大切な脳の記憶が消えているという現実です。

[<https://www.chichi.co.jp/web/>]

このショッキングな事実をどうお考えになりますか？今、子どもたちのゲームやネット利用が大きな問題となっています。夏休みは、今までより長い時間を家で過ごすこととなります。この時期に、ゲームやネットの利用方法について、家族でもう一度考えることが大切です。

- ・親の願いを伝え、子どもと一緒に夏休みのルールを決める（確認する）。
- ・決めたルールを徹底して守る（守らせる）。
- ・守られなかったらペナルティを家族全体の問題として行う（翌日TVやスマホ禁止…等）。

決めたルールを徹底させられるか、どうかは家族の本気度が問われます。ルールが守られたとき、子どもには我慢する力が必ず付きます。子どもたちの将来のためにも、夏休みには、家族で協力して取り組んでみてください。

8・9月の主な予定（今後変更される場合があります）

7/31（金）1学期終業式	9/18（金）保小中合同避難訓練
8/8（土）学校無人化 ～16	9/23（水）交通安全街頭指導 ～30
8/22（日）PTAクリーン作戦	9/24（木）5学年妙高自然教室 ～25
8/25（火）2学期始業式	9/28（月）小中学校巡回ミニ平和展 ～10/9
8/27（木）第2回CS会議	9/29（火）歯科検診

今月のことば：「能力の差は小さいが、努力の差は大きい」（日本文理高校野球部）